|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 1. 内容 | 授業づくりがスムーズなジャンル別・文種別の単元構成である。  「古文編」「漢文編」「近代以降の文章編」の各編は文種別に教材が配列されており、使い慣れた構成で、カリキュラムや授業が組み立てやすくなっている。  日本の言語文化を重層的に学べる多彩な古典・文学教材が採録されている。  　古典から現代小説まで、国語教育における実績と蓄積のある多彩な作品群が掲載されており、日本の言語文化を、時代の積み重ねとともに学ぶことができる。  読解を表現に広げる充実した言語活動が設定されている。  　随所に「学びを広げる」が配置され、教材と関連した作品との比べ読みのほか、小説の書き換え、短歌・俳句の創作などの言語活動にも取り組むことができる。  知識・技能の確実な定着を図る豊富なコラムが掲載されている。  　文法や句法、読解の方略などをわかりやすくまとめたコラムが豊富に掲載され、教材の読解を深めるとともに、知識・技能の確実な定着を図ることができる。  ➊生涯にわたる社会生活に必要な国語の力を身につけるための系統的な教材配列になっている。  中学校国語科における学習の成果をふまえて、高校生として望ましい国語の力を身につけ、習得した力が日常生活の中で生きてはたらくよう、発達段階に即して系統的に教材が配列されている。特に、古文編・漢文編の冒頭の単元は、入門期であることをふまえ、生徒が興味をもって意欲的に取り組むことができるよう工夫されている。  ➋感性豊かに人間の姿や心情を描いた、想像力を刺激する魅力あふれる教材が選定されている。  日本の言語文化の諸相を幅広く取り上げ、人間の普遍的な生き方や心情を情緒豊かに表現した作品を教材化することにより、さまざまな角度から言語文化の諸側面にふれ、日本の伝統文化について理解を深めることができるよう配慮されている。特に、古典の現代的意義を日常の言語活動に即して把握できるよう、言葉の音声的側面や、古典作品と近代以降の作品とのつながりが感じられる教材・言語活動を積極的に採録している。  ➌定評ある教材と現代的話題の清新な教材がバランスよく配置されている。  従来から定評のある教材を機軸としながら、特に、近代以降の文章編では、現代的話題に満ちた作品が教材化されており、生徒の興味・関心を喚起できるよう工夫されている。  ➍日常生活において必要な言語能力を身につけられる、具体的・実践的な言語活動が設定されている。  単元のテーマに即した言語活動「学びを広げる」が設定され、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高められるようになっている。多様な表現活動を支えるための情報収集や辞書・事典等の活用にも配慮され、総合的な学習ができるよう工夫されている。また、作文例や発表例などの模範を示すだけでなく、言語活動の具体的な展開を教室での実践に即したかたちで提示することによって、生徒が主体的に言語学習に取り組めるようになっている。  ➎言語文化の担い手として、読書に親しみ、知識と教養を広げることができる。  単元で学習したことをもとに、実生活との関わりの中で読書に親しむことができるよう、全単元に「ブックガイド」が設定されている。読書の意義と効用について理解を深め、幅広い知識と教養を身につけるとともに、真理を求める態度を養うことができるよう工夫されている。 |
| 2. 構成・分量 | ●全体は「古文編」「漢文編」「近代以降の文章編」の3部構成で、それぞれは文種別の単元構成である。使い慣れた構成で、授業やカリキュラムを組み立てやすくなっている。（古文編6単元／漢文編6単元／近代以降の文章編5単元）  ●いずれのジャンル・単元も、日本の言語文化を重層的に学べる作品群で構成されている。  ●古文・漢文それぞれの入門単元では、「なぜ古典を学ぶのか」を考えさせる文章とともに、文の仕組みが丁寧に解説されており、段階的な学習ができる。  ●随所に「学びを広げる」が設定されており、教材の読解をベースとして、「主体的・対話的で深い学び」につながる言語活動を行うことができる。  ●古典や文学に関する知識・技能を身につけるためのコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」「文学を読むために」「言語文化の扉」が充実している。  ●各単元のテーマに関連した参考教材・ブックガイドで、さらなる主体的な学びや自学自習へとつながっている。 |
| 3. 表記・表現及び指導上の工夫 | ●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。  ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。  ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。  ●全教材に二次元コードが付してあり、学習をサポートする資料やデジタルコンテンツが充実している。また、授業を支援する教師用指導書や教材、ICTツールなどが充実しており、指導しやすく学習しやすい教科書である。 |
| 4. ユニバーサルデザイン | ●専門家の知見を参考に、特別支援教育ならびにユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。  ●カラーユニバーサルデザイン（CUD）への対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。  ●教材で使用している文字にUDフォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。 |
| 5. 印刷・造本などの配慮 | ●活字・写真・挿絵は鮮明で、レイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。  ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。  ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。  ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。 |
| 【総合所見】  生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実が図られ、質的ならびに分量も適切である。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目「言語文化」の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成すること（上代から近現代に受け継がれてきた日本の言語文化への理解を深めること）に適した教科書である。 | |